

(別紙様式4)

### 提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : 第6次兵庫県がん対策推進計画(案)  
意見募集期間 : 令和6年1月12日～6年2月1日  
意見等の提出件数 : 17件(3人)

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
第1章 計画の趣旨 2 前推進計画の 達成状況 (3)全体目標	(本文2ページ) がんの75歳年齢調整死亡率が 全国平均より4ポイント低く なっていることについて、何が 低下に寄与したのか。	1	【その他】 現計画(第5次)の個別目標に対し、がん 検診受診率や健康に関する指標等、 85%が目標達成、または改善している ことなどが寄与しているものと考えら れています。
第2章 兵庫県の概況 2 兵庫県のがん 罹患死亡状況 (5)がんの部位 別死亡状況 の推移	(本文13ページ) 現在、肺、胃、大腸、肝臓、乳、 子宮のがん年齢調整死亡率の 推移グラフ(全国と兵庫県の比 較)が掲載されているが、膵臓 等、あと2つ位の部位を加えて はどうか。	1	【その他】 部位別死亡率の推移のグラフについ ては、国のがん検診実施の指針で取り扱 う胃・肺・大腸・乳・子宮頸に加え、主 要5部位の1つである肝がんについて 掲載しています。また、その他の部位に ついては、計画本文12ページの図8に令 和4年のがんの部位別死亡率を掲載し ております。
第3章 基本理念及び改 定の視点 2 がん対策推進 関係者の役割 (2)市町の役割	(本文20ページ) 市町の役割について、がん患 者等との協働による取組を盛 り込むべきではないか。	1	【意見を反映】 ご意見を踏まえ、計画本文20ページに 以下のとおり一部加筆修正しました。  (2)市町の役割 県のがん対策に協働し、 <u>がん患者及びが ん患者団体等</u> を含めた地域密着型の活 動を通じてがん対策を推進するととも に、特にがん検診受診率の向上に関し ては、独自の数値目標を定めてその達成に 努めるものとする。
第5章 分野別施策及び 個別目標 第1節 がん予防の推進 (2)たばこ対策 の充実	(本文23ページ) たばこの害は明白であり、高齢 になると全身に弊害が出てく る。多くの方が、喫煙をしてい るのを見かけるが、何かキャン ペーンを行ってはどうか。	1	【今後の取組の参考】 イベントでの啓発チラシを配布するな どのキャンペーンを含め、効果的なた ばこ対策を検討し、推進してまいりま す。
(3)感染症に起 因するがん 対策の推進	(本文24ページ) 日本肝臓学会で「Stop CLD ALT over 30U/L」が宣言されたこと に対し、医療機関への周知及び 県民に対しどのような啓発が 有効であるか検討してほしい。	1	【今後の取組の参考】 肝炎対策協議会等において、効果的な 啓発方法について検討していきます。

	(本文 24 ページ) ウイルス性肝炎について、職域を含む肝炎ウイルス検査の受診促進、及び陽性者に対するフォローアップ(陰性者に対する検査内容の周知を含む)を実施してほしい。	1	【その他】 市町や医療機関、職域等における肝炎ウイルス検査の実施を推進するとともに、要精検者に対しては精密検査等受診勧奨などの保健指導を行っています。
	(本文 24 ページ) ウイルス性肝炎について、患者への初回精密検査費用助成、定期検査費用助成(特に C 型著効者)制度を周知してほしい。	1	【その他】 県ホームページをはじめ、健康サポート手帳や各種リーフレット等を活用しながら、医療機関や行政機関等から周知に努めています。
第 2 節 早期発見の推進 1 がん検診機会の確保と受診促進支援 (1)市町の取組支援	(本文 26 ページ) 重点市町の指定等による市町の取組促進はマンネリになっていないか。検診受診率下位 5 市町は何か特別に取組を実施する(神戸市は区単位でも良いのでは。)等を試してはどうか。上位の市町は何か工夫をされていると思うため、それを横展開することが重要である。	1	【今後の取組の参考】 毎年開催している市町との連絡会議で、がん検診受診率向上策に結びつく他市町の先進的な取組等について情報共有等を行っています。市町が地域の実情に応じ効果的に受診率向上等に取り組めるよう引き続き支援に努めてまいります。
(3)がん検診受診促進のための普及啓発	(本文 26 ページ) SNS 等を活用したがん検診受診促進は具体的にどのようなことを行うのか。	1	【その他】 WEB・SNS 広告バナーへの掲載などのインターネットによる受診促進のための啓発を行います。
第 3 節 医療体制の充実 1 個別がん対策の推進 (3)肝がん対策	(本文 28 ページ) 肝がん・重度肝硬変研究促進事業について、指定医療機関以外の病院に対し、指定医療機関になる様に働きかけてほしい。	1	【今後の取組の参考】 県ホームページにおいて指定医療機関の申請案内を掲載しております。今後関係団体等とも相談しながら、より多くの施設が指定医療機関になるよう努めてまいります。
	(本文 28 ページ) 肝がん・重度肝硬変研究促進事業について、肝炎医療コーディネーター等を活用し患者に対し制度の説明を行ってほしい。	1	【今後の取組の参考】 肝炎医療コーディネーター研修会等を通じて患者への制度の周知等を働きかけていますが、今後とも肝疾患診療連携拠点病院等と連携しながら、更なる周知を図ってまいります。
	(本文 29 ページ) 肝疾患専門医療機関について、どこに住んでいても受診出来る様に専門医療機関の均てん化をお願いしたい。	1	【今後の取組の参考】 肝疾患診療連携拠点病院が中心となり、地域の医療機関との連携による診療ネットワークの充実を図るとともに、県内すべての二次医療圏で専門医療機関が整備されるよう努めてまいります。

	(本文 29 ページ) 最近、肝炎ウイルス以外が原因での肝硬変、肝がんが増加していることについて、予防対策、及び専門医療機関でのリハビリテーション対応を検討してほしい。	1	【今後の取組の参考】 肝炎ウイルスに起因しない非アルコール性脂肪性肝疾患等に関連する肝がんが増加傾向にあることは課題だと認識しており、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。
	(本文 29 ページ) 肝炎医療コーディネーターについて、活動についての好事例集をまとめて、情報共有出来る様にしてほしい。	1	【今後の取組の参考】 肝炎医療コーディネーター研修会やSNS等を活用してコーディネーター同士が情報共有できるよう、連携強化に努めてまいります。
	(本文 29 ページ) 肝炎医療コーディネーターについて、肝炎医療は日進月歩に進化しており、アップデートした情報共有が必要。	1	【計画の趣旨に合致】 県が主体となり肝炎医療コーディネーター研修会等を通じて、患者支援に必要な最新の知識や情報等について、共有を図ってまいります。
	(本文 29 ページ) 肝炎医療コーディネーターについて、コーディネーター同士が連携出来るような集まりを再開してほしい。	1	【今後の取組の参考】 肝疾患連携拠点病院等と相談しながら、対応を検討したいと考えています。
その他全般	県議会議員にがん対策の議連を作ってもらってはどうか。議員が率先してがん対策を進め、年1回はイベントを行い、がん対策に寄与する団体を表彰する式典を開催し、新聞社に記事を掲載してもらおう等を提案する。(奈良県、滋賀県は以前より議連があると聞いている。)	1	【今後の取組の参考】 いただいたご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。